

第 19 回議会報告会 報告書

地 域 名	熊次地域		
年 月 日	平成 31 年 4 月 26 日 (金)	会 場 名	熊次コミュニティスポーツセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 10 分
参 加 数	男性 17 人	女性 3 人	合計 20 人
班 長	勝地 貞一	司 会 者	勝地 貞一
報 告 者	班員全員	書 記	藤原 芳巳
班 員 名	勝地 貞一、谷垣 満、藤原芳巳、瀬原 達夫		
市 民		対 応	
報告に対する質疑	① 議員報酬について、復帰できない時はどうなるのか。	① 辞職しない限り、地位と身分保障があり任期中は 50% の報酬が支給される。復帰できないことが確定した時は、議会や他人が辞職させることはできず、議員本人の判断となる。	
	② 90 日までに、1 日だけ出席し再び休む場合の議員報酬はどうなるのか。	② 議会運営委員会で協議し、長期欠席が継続していると認めるときは復帰は認めないと判断していくことになる。	
	③ 但馬牛クラスター推進事業の補助金とは何か。	③ 国・県の補助により、但馬牛の増頭と畜舎の整備、ブランド力の強化、生産基盤の強化を図るための補助金である。	
	④ 文化会館の整備が進んでるが、既存の旧町のホールなどは意欲的な活動がされている。経済的な効率で一律に切ることの無いよう、地域性も考慮し、住民の思いも受け止めていただきたい。	④ 旧町の文化会館が使用できなくなり、大きな修理が必要となった場合、その時点で廃止になる計画となっている。	
	⑤ 義務教育学校について、事前に PTA、地域にその必要性についての説明もなく、決まってからの報告だった。今まで小・中学校の卒業までクラス替えなしで行くのは弊害があると言って統廃合してきたではないか。	⑤ 小学校についても専門性のある教育が求められている中、モデル校として関宮小・中学校が義務教育学校となる。必要性の説明をしても賛否が分かれるところはあるが、地域に学校を残すためということでご理解いただきたい。	

	市 民	対 応
(報告に対する質疑)	⑥ 水道事業でコンセッション方式の導入が可能と書いてあるが、養父市はそういう方向なのか。	⑥ 現在は、自治体間の広域連携を考えている段階である。
意見交換会での質疑	① 出合のバス停は診療所から遠いので、変更ができないか。 ② 議員 14 名でやれてきたのなら、定数を 14 にしたらどうか。 ③ ヘリポートについて、最近田に降りたケースがある。市では、ここに作ろうという提言などはしないのか。	① 地域の利用者の意向を当該の区長から要望をしていただければ変更することは可能と思う。 ② 議員定数を減らすと地域の声を吸い上げる力が落ちるという面もある。広く市民団体等の意見を求めながら、今期の議会運営委員会で議論し、議員で決定することになっている。 ③ 必要であれば、地域で場所を確保して要望することが必要である。
その他(提言など)	① 氷ノ山の登山道、トイレの整備などの観光面について力を入れてほしい。要望するが実現しない。草刈り等をするにも高齢化で地域の力も落ちてきているので、少しここにも目を向けていただきたい。 ② 神戸市の学校の 8 割の 180 校がハチ高原に来ているが、神戸市の教育委員会がスキースクール実習の自粛を決めた。これがなくなると養父市の税収にも大きく影響する問題であり、市長のトップセールスを期待する。	① ご意見としてお聞きする。 ② ご意見としてお聞きする。
備考	なし	

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和元年 5 月 14 日

報告者 1 班 班長 勝地 貞一

